

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年10月20日

【事業所概要(事業所記入)】

| | |
|---------|-----------------------------------|
| 事業所番号 | 第4670105123 |
| 法人名 | 有限会社 ライフサポート |
| 事業所名 | グループホーム 福平 |
| 所在地 | 鹿児島市下福元町7505番地 電話 099-210-8550 |
| 自己評価作成日 | 平成26年8月25日 |

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

| | |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46 |
|-------------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|----------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人NPOさつま |
| 所在地 | 鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号 |
| 訪問調査日 | 平成26年10月11日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームの敷地内には小規模多機能ホーム、有料老人ホームもあり合同での行事もあり、春にはホームの庭の5本の満開の桜の木の下でのお花見、夏には地域、家族の方々もお呼びして盛大に夏祭り、敬老の日には手作り弁当を作りご家族と一緒にお祝いをしています。また利用者様と一緒に月に1回の外食、年に1回の一泊旅行を実施しホーム内では味わえない行事を行って喜んでいただいております。ホームとしても認知症の内部の勉強会また谷山地区のグループホーム勉強会にも参加し、他の施設との連携を取りながら、利用者様、ご家族にどのようなしたら喜んでいただけるかを日々考えながら、とりくんでいます。年に3回の消防署立会いの下消防訓練、毎月の自主防災訓練と力を入れ災害に備えています。毎月ホームでのお便りを作りご家族に様子を知らせています。またホームでの看取りについてもご家族、ご本人の希望があれば主治医と相談しながらお世話が出来ればと考え、職員の研修にも力を入れています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○鹿児島市街地に位置する当ホームは、地元の方の戸建て住宅や集合住宅が共存する地域で、ホーム前の住民から採れたて野菜の差し入れをいただくなど地域との交流は積極的におこなわれている。また、家族の協力などいただき馴染みの場所や関係継続にも配慮している。

○「地域の中で、その人らしく、安心して、暮らし続ける」という地域密着型サービスを意識した理念を掲げ、月1回支援方法などについて話し合い、常に理念に立ち返りケアを提供するなど理念は職員に浸透している。

○ホームは、有料老人ホーム、小規模多機能型施設と併設しており、運営推進会議は合同でおこない、非常災害時の連絡・連携体制が構築されている。避難訓練を会議と同時におこない、地域の協力体制もあり、毎月9の付く日は、安全点検や勉強会を実施して防災についての意識づけが徹底されている。

○重度化した場合や終末期の介護について、事務所としての指針や医療連携に関する説明を十分におこない、安心して納得した最期を迎えられるよう取り組んでいる。

○ホームの庭には菜園があり利用者は、じゃがいも、大根などの季節の旬の野菜の成長や収穫を楽しみにしており、庭の桜の木の下でのお花見会は地域の方も誘って手弁当を楽しんだり、誕生会には特大のケーキでお祝いし、普段は手作りおやつにて食生活を楽しんでいる。

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている | 理念を「地域の中でその人らしく安心して暮らし続ける」とし毎朝、理念を唱和し、その人らしい生活ができるよう実践している。 | 開設当初からの理念であり、地域生活を強く意識した理念になっており、毎朝唱和し、職員にも浸透している。また、1階は「ゆっくり、一緒に、楽しく」、2階は「一人ひとりに日々笑顔でこたえて」というサブテーマを掲げ日々のケアに取り組んでいる。 | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人員として日常的に交流している | 町内会に加入し、地域の方々と交流を深め、行事等にも参加し、日々の生活においても積極的に挨拶をしたり、施設の行事（夏祭り、餅つき等）参加していただき交流を深めている。 | 事業所は自治会に加入し、地域行事へ参加やホームの夏祭り・餅つき大会での交流を通じて、より一層地域の一人員としての絆を深めている。また、小学生、高校生や一般のボランティア、中学生の職場体験の受け入れなど地域貢献も積極的におこなっている。 | |
| 3 | | ○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。 | 運営推進会議において認知症に対する介護のあり方の話し合い、又サマーボランティア、体験学習等受け入れ認知症の方々の対応、理解に関心を持ってもらえるように支援している。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 町内会長、民生委員、利用者の家族、長寿安心センター、の方々の参加を頂きホームの報告、課題を検討したり、消防訓練にも参加していただき協力をいただいている | 定例化された会議のメンバーからは、毎回活発な意見や要望など提案され、有料老人ホーム、小規模多機能職員との合同会議になっている。会議と防災訓練を同時に実施し参加メンバーから避難時の協力や理解を得ている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 5 | 4 | <p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p> | <p>実務者研修の施設実習、見守りメイトの施設実習の受け入れを行い、認知症に対する理解を深めていただくように協力している。行政との話し合いも持ち利用者様の生活を考える様になっている</p> | <p>市担当者や福祉事務所職員とは、日頃から面談や電話などで意見交換したり、指導や助言など受けている。また、市担当から「出前講座」などの勉強会を依頼されたり、今後は市と協力して地域のネットワーク体制を進めていく予定である。</p> | |
| 6 | 5 | <p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p> | <p>定期的に身体拘束委員会を行い、身体拘束とは何かを学び、職員全員が理解するようにしている。玄関についてもいつでも出入りが出来る様に施錠を掛けない工夫をしている。</p> | <p>鍵をかけない自由な暮らしを支援するため、玄関に鈴を着け注意喚起し、本人の言動や精神状態など配慮しながらさりげなく寄り添うなどケアしている。また、2か月に1回の身体拘束委員会で、事例検討やカンファレンスをして身体拘束の弊害など職員の認識の共有を図っている。</p> | |
| 7 | | <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p> | <p>定期的の勉強会を行い、身体的虐待、心理的虐待を学び、事業所内で少しの虐待も見逃さないように努めている。特に利用者様へのこえ掛けについては常日頃心がけて笑顔で対応するように努めている。</p> | | |
| 8 | | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p> | <p>権利擁護についての勉強会を行い、必要な方が入居されても対応できるようにしている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 9 | | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> | <p>契約時に契約書・重要事項説明書の内容を読み上げながら説明を行い、不安や疑問点にはその都度、確認しながら説明を行い、同意をもらっている。</p> | | |
| 10 | 6 | <p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p> | <p>ご家族の意見、苦情、不満が書き易いように、玄関に意見箱を設置したり、面会簿にメモ欄を設けている。又、家族の面会時に職員が声を掛け意見、要望を聞き、運営に反映させている。年に2回の家族会においてもご意見をいただいています。</p> | <p>本人からは、日常ケアの中で言葉や態度などから推察したり、家族から意見を聞いたりしている。家族は、面会時や年2回の家族会、行事、面会簿にメモ欄を設けて意見が出しやすいよう工夫をして意見をもらっている。また、運営推進会議の時に、意見を拝聴して出された意見は、月1回のスタッフ会議で報告し、運営に活かしている。</p> | |
| 11 | 7 | <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p> | <p>職員それぞれのできる能力を引き出し、意見や提案を出してもらい常に管理者は代表者と連絡を取りながら運営に関する意見が言えるようにしている。どんな事でも皆で話し合える雰囲気作りに努めている。</p> | <p>管理者は、毎月のスタッフ会議や申し送り時に、職員から意見を聞く機会を設けている。職員から出された意見は、代表者に報告し業務の改善や見直しをして職員が働きやすい職場環境、業務遂行のための橋渡しの役割を担い、忌憚なく意見交換ができる関係作りに努めている。</p> | |
| 12 | | <p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p> | <p>代表者は多方面から、職員個々の状況に気を配り、職場環境や条件の整備に努めている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 13 | | <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>新人採用時は、新人研修を行い、（谷山地区グループホーム勉強会）に出席したり、職員が考えた内部研修を行って勉強している。又法人内外の研修にも積極的に参加している。</p> | | |
| 14 | | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>谷山地区グループホーム勉強会に参加、20数ヶ所の方々と常に連携を取りながら、情報交換をし、お互いにサービスの向上に努めている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | <p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p> | <p>最初は家族、担当ケアマネ等からの相談が多いが、利用に至るまでに本人とも面談する機会を作り、本人自身が困っている事、不安な事をよく聴き受け留めるように努めている。</p> | | |
| 16 | | <p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p> | <p>家族と信頼関係を築く事により、利用者様をより深く知り、安心していただける介護もできると考えているので、常に連携をとり関係づくりに努めている。また家族の相談事にも対応するようにしている。</p> | | |
| 17 | | <p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p> | <p>相談を受けた折、本人にとって一番どうしたら良いかを家族本人と相談、いろいろな可能性をお話し見極めに努めている。</p> | | |
| 18 | | <p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p> | <p>職員は入居者の生活暦や趣味を知り、得意な事や好きな事を、日々の生活の中に取り入れ、常に人生の先輩である事を意識しながら学んだり、支えあったりしながら共に過ごしている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 19 | | ○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 利用者様はもちろんの事家族の方の相談にも傾聴し思いを共有しながら一緒に本人を支えて行くように努めている。家族の面会が少ないときにはさりげなくお願いする。 | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 家族と一緒に外泊をされたり、兄弟の方の所にお連れしたり、これまでの歩んでこられた人生においての縁が切れない様に支援に努めている。 | 自宅に家族と帰り、サワーポメロを毎年時期に収穫される方、美容室、理容院に出かけたり、ホームに来てもらう方があり顔馴染みになっている。また、息子さんと定期的に外出される方や、職員が家族宅にお連れして外食を楽しまれる方もある。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 利用者それぞれの性格、認知症の程度等を考慮しながら、座席も配慮し、利用者同士がやさしく楽しく関わり合える生活の場になるように努めている。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 他施設への退所の方はおられないが、亡くなられた方々についてはお参りをしたり、これまでの関係性を断ち切るのではなく、いろいろな相談事にも気軽にさせていただく様に支援している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | これまでの生活や、趣味などを本人、家族との会話の中や生活の中から見つけ、本人の望む生活が出来る様にしえんする。 | 本人の思いや意向について職員間で共有するため、月1回職員会議、カンファレンスなどで意見交換している。アセスメントツールを見直して、職員が個別でアセスメントするよう検討中である。意思表示が困難な方には、本人本位にケアするなど支援している。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 入所時に生活暦を聞いたり、日常生活の中での会話や様子等で、情報収集をして見逃さないようにし、それまでの生活環境を大事にしたケアに努めている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 日々のミーティング・連絡帳、ケースカンファレンスによって、一人ひとりの心身の状態を把握し、できる事・できない事の見極めをし対応する様にしている。 | | |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 本人・家族の意向を確認し月1回スタッフ全員で一人ひとりの介護計画の評価・見直しについてカンファレンスを行い、本人・家族の希望、要望を反映したプランになるように努めている。 | 毎月のスタッフ会議で介護計画の随時の見直し・評価を実施するなどカンファレンスを開催している。介護計画は、本人の実情に即した計画になっており、本人や家族の思いや希望を反映した計画を作成している。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 個人記録は、ケアプランを頭に入れながら、異変や気づいた事を細かく記録し、職員全員が情報を共有し、毎月のスタッフ会議で討議しながら支援を行っている。毎日の引継ぎを大切にしている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 美容院、通院等の外出支援等、ご本人ご家族の要望に応じた柔軟な支援がなされるように努めている。いろいろなことが出来るようにスタッフを多めに行っている。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 地元中学生の体験学習を受け入れる事や地域の方とふれあう事により、豊かな暮らしを楽しむ事が出来るように努めている。お花見、夏祭り、餅つきには町内会の参加もいただいている。 | | |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 本人や家族の希望するかかりつけ医を優先し、連携を取りながら支援している。受診時は状況を適切に把握するために「病院受診連絡表」を活用している。ホーム側で受診した折には、結果報告を必ず家族に連絡するようにしている。 | 本人が希望するかかりつけ医になっており、定期的な訪問診療を受けている。主治医は、認知症専門医であり病状や内服薬、治療などの相談もしやすく、2ヵ月に1回病院で開催される医療の勉強会にも職員も参加してスキルアップを図っている。受診時は、「病院受診連絡表」を活用している。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | <p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p> | 常に看護職員と介護職員は連携をとりながら、少しの変化も見逃さず、体調管理を行っている。 | | |
| 32 | | <p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p> | 入院した時は面会に行ったり、家族から情報を得たり、医療機関より情報を得たりしながら、早期退院できるように取り組んでいる。 | | |
| 33 | 12 | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p> | 入居時に重度化、終末期の付いて、本人、家族の意向を聞いており、その方針は全員共有している。また状況変化に応じて、その都度、再確認している。職員については、看取りについても勉強会で学んでいる。 | 現在もお一人看取り対象の方があり、毎日のようにスタッフ会議を開催して方針など共有するようにしている。入所時に「重度化した場合に係る指針」「医師や医療機関との連携体制」にて説明し、「医療連携体制同意書」にて同意をいただいている。重度化した場合は、段階に応じて説明し十分に話し合い、その都度同意をいただいている。 | |
| 34 | | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p> | 救急法の講習会を実施し、実際に人工呼吸や異物除去法の訓練を行っている。また、連絡網やマニュアルを事務所の目に付きやすい所に設置している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 35 | 13 | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p> | <p>防災訓練は年3回消防署の立会いで、さまざまな状況を想定して実施している。また、毎月9日には防災についての勉強会を行い、安全に避難誘導できるようにしている。消防署からきていただき、疑問点等を話し合う機会を作るようにしている。</p> | <p>年3回、昼夜想定避難訓練を実施、また、毎月9のつく日は救急の日と定め、安全点検や勉強会を実施して普段から防災についての心構えを徹底している。管理者は、抜き打ちの避難訓練を考えており、現時点での訓練の課題や改善点がないかどうかを含めて職員の意識向上を検討している。備蓄は水やレトルト食品、缶詰などがある。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 日頃一人ひとりを大切にする、言葉掛けや介護方法を話し合い、意識の向上を図っており、理解して対応している。個人情報保護法や取り扱いについても周知している。 | 利用者一人ひとりに尊厳を持って年長者として敬い、普段から失礼のないよう言葉かけしている。その方に合った声かけや言葉使いもあり、個別に対応するなどしている。プライバシーや個人情報の取り扱いについては、慎重に取り扱っている。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 日々の生活の中で、常に本人がどのように生活したいのかを探りつつ、本人の思いを大切に、不安なく心豊かに暮らせる様、家族の思いも尊重しつつ支援している。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 本人の希望や体調に配慮しながら、起床時間、個室での食事、買い物、散歩、昼寝、掃除、入浴等日々その人らしい暮らしの支援がなされている。利用者様に合わせたケアを大切に。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している | 本人の好む色や服を理解し、心地よくおしゃれが出来るように努めている。外出が困難な方も、美容師さんに来所して頂き、その人らしい身だしなみに心掛けている。 | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 利用者様の好き嫌いを確認し、特に旬のもの、誕生日のお祝い、お正月、お盆、敬老会、お花見、等その時その時を大切に美味しく楽しく食事が出来る様に努めている。 | 食事前に毎回“おとみさん体操”を実施している。嗜好調査をおこない好みの変化にも臨機応変に対応するなどして食事が楽しめるようにしている。誕生日は特大ケーキ、そば切り、おせち、手作りのおやつ（ふくれ菓子、かかん饅頭）など楽しんでいる。また、3ヵ月ごとに法人の管理栄養士による栄養指導など受け調理を工夫している。地域の方の野菜の差し入れ、菜園の旬の野菜も食卓を賑わせている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 栄養士のアドバイスを受け、献立作りに努めている。水分が不足しがちな方にも工夫して摂取確保に努めている。食事量も一人ひとりに合わせて提供している。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後一人ひとりの状況に応じて声掛けやセッティング、仕上げ磨きをおこなっている。歯科医師による口腔チェックを行っている。 | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | 一人ひとりの力や排泄のパターン習慣を理解し、適切に声掛け介助することにより、排泄の失敗やオムツの使用を減らし、布パンツで対応できるように支援している。 | 一人ひとりの排泄のリズムを把握し、プラバシーに配慮した声かけ、トイレ誘導を心がけている。ポータブルトイレを使用される方はなく、布パンツを使用し、日中はトイレでの排泄支援、夜間はオムツなど併用してできるだけ気持ちよく過ごせるよう支援している。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | ホットミルク、毎日の食事、おやつにも繊維性の食物を多く摂取する工夫している。排便周期のチェック、水分、散歩、腹部マッサージ等随時行っている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している | 出来るだけ希望に添えるように時間帯も考えているが困難などところがある。入浴の楽しみはしていただいている。 | 曜日を固定せず日曜日以外は、本人の希望や必要性に応じて入浴が楽しめるよう配慮している。年々、重度化しており二人介助で入浴される方も増えてきている。入浴剤を使用して入浴を楽しむ利用者も多い。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 居室にいるのが不安な人、寝付けない人等さまざまだが不眠時にはホットミルクを飲んでもらったり話をしたりして安心して休息、眠れるように支援している。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 調剤薬局で個別にセットしてもらい、間違いのないようにしている。職員は薬の目的や副作用、用法について理解している。服薬については必ず2人でするようにしている。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 食事の準備や片づけ、日々の単純な作業等で一人ひとりに出来ることや得意なことを分担し、役割や自信を持って生活出来るように支援している。 | | |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。 | 晴天の日は、ホームの庭が広く芝生が敷き詰められて、季節の花等植えられ、外の陽や風に触れることが出来るよう中庭の散歩を日課としている。1月に1回外食に行ったり、1年に1回一泊旅行に行ったりしている。 | 日常は、ホームの庭に出て散歩したり、日光浴を楽しんでいる。家族との外出や外泊を定期的にする利用者もいる。年1回は1階・2階、職員全員で1泊旅行が毎年の楽しみになっている。また、隔週移動販売車が来るので、利用される方もある。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p> | <p>希望や力量に応じてお金を所持し希望があれば一緒に買い物に行ったり、頼まれて買って来たりJAの移動販売車が来るので一緒に買い物をする。</p> | | |
| 51 | | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p> | <p>家族や大切な人に電話連絡をしたい時は、電話ができるように支援している。お届け物があった折には、必ず電話し本人にもお話をさせていただいている。</p> | | |
| 52 | 19 | <p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>皆さんが集まるホールでは季節の飾り物、庭のお花等を置き音楽、テレビもゆっくり見られるようにしている温度、湿度についても気をつけて居心地の良い空間作りに努めている。</p> | <p>1階と2階の往来にはエレベーター、階段が設置され、玄関にはホームの理念や職員紹介（写真入り）など掲示され、リビングには、季節の生花が飾られソファが置いてあり好きな時にゆっくりと過ごせる工夫がしてある。採光もあり、壁には旅行の写真や行事の写真、ペットボトル蓋を使用した作品が掲示してある。対面式キッチンで食事の準備を手伝いされる方もいて職員の様子が伺え家庭的な雰囲気である。</p> | |
| 53 | | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p> | <p>共用空間でもテーブル、座席の配慮や和室の設置でゆっくりと足を伸ばしお話を聞いたりして思い思いに過ごせるようにしている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|--|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 | |
| 54 | 20 | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>利用者の居室には、ベッド、タンス備え付けてあり、自宅から馴染みの身の回り品や、仏壇等持ち込まれ、これまでの生活環境が少しでも残った個性のある部屋になっている。</p> | <p>居室入口に紐付きのネームが掛けてあり、避難の際は退室確認ができるよう工夫されている。ベットは身体機能などに応じて検討されており、手製暖簾を掛けている方、テレビ、仏壇や位牌、タンス、ソファ、家族写真など馴染みの物を持ち込み居心地よく過ごせるよう工夫している。</p> | | |
| 55 | | <p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p> | <p>各箇所手すりが設置されており、全ての扉は引き戸で無理なく開閉出来るようになっている。トイレのライトは、センサー式にしており、安全かつ出来るだけ自立した生活が送れるようにしている。</p> | | | |

V アウトカム項目

| | | | |
|----|---|---|---------------|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者の |
| | | | 2 利用者の2/3くらいの |
| | | | 3 利用者の1/3くらいの |
| | | | 4 ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38) | ○ | 1 毎日ある |
| | | | 2 数日に1回程度ある |
| | | | 3 たまにある |
| | | | 4 ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |

| | | | |
|----|--|---|---------------|
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49) | | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | ○ | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19) | ○ | 1 ほぼ全ての家族と |
| | | | 2 家族の2/3くらいと |
| | | | 3 家族の1/3くらいと |
| | | | 4 ほとんどできていない |

| | | | |
|----|--|---|---------------|
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19) | ○ | 1 ほぼ毎日のように |
| | | | 2 数日に1回程度ある |
| | | | 3 たまに |
| | | | 4 ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | ○ | 1 大いに増えている |
| | | | 2 少しずつ増えている |
| | | | 3 あまり増えていない |
| | | | 4 全くいない |
| 66 | 職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12) | ○ | 1 ほぼ全ての職員が |
| | | | 2 職員の2/3くらいが |
| | | | 3 職員の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ | 1 ほぼ全ての家族等が |
| | | | 2 家族等の2/3くらいが |
| | | | 3 家族等の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |